



いばらき県議会だより

茨城県議会

検索

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.218

迎春 2022年

感染再拡大を防ぐため、基本的対策を

- ☑マスクを正しく着け、手洗い、消毒、うがいを行いましょう。
- ☑換気をこまめにし、3密を避け、社会的距離を確保しましょう。
- ☑食事時の会話は感染が生じやすいため、特に注意しましょう。



茨城県議会議事堂



光り輝く夢と希望にあふれた 茨城の実現に向けて邁進

茨城県議会議長 伊沢勝徳

新年明けましておめでとうございます。昨年12月の第4回定例会において、第114代議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。社会のあらゆる側面に多様な困難をもたらすコロナ禍において、私たちは、互いに協力し合い、叡智を結集し、この困難を乗り越えていかなければなりません。

また、急激な人口減少、カーボンニュートラルやデジタル化など、時代の変化を迎え、我々県議会は、時代の変化に対応しながら、県民の声を的確に県政に反映させ、「郷土「茨城」の発展に邁進しなければなりません。今後、県政においては、子どもたちの健やかな成長を促す環境整備の推進をはじめ、長寿福祉の充実、活力向上に資する産業・観光の振興、農業の発展、災害対策、環境対策、教育の充実など、様々な分野において、私の政治信条「子どもたちの将来のためのまちづくり」につながる、県民誰もが、住んで良かったと思える茨城の持続可能な発展に向けて、力強く取り組んでいく必要があります。

私は議長として、県議会において、時代の変化に柔軟に対応し、夢と希望にあふれた茨城の実現に向け、自由闊達な議論を展開されるよう誠心誠意努めていく決意であります。県民の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

県民参画の推進に向けた 議会改革の実現を



茨城県議会議副議長 舘 静馬

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第4回定例会におきまして、第115代副議長に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところでございます。

コロナ対策については、第6波への備えを万全にしつつ、観光産業や飲食業をはじめとした県内産業への需要喚起を図る経済対策に軸足を置き、冷え込んだ地域経済を力強く回復させることが喫緊の課題であり、新たに北関東3県が連携して魅力発信に取り組みむなど、広域的な連携強化が不可欠であります。

また、カーボンニュートラルが叫ばれる中、本県においては、脱炭素化を図る新産業の創出・集積を目指すとともに、民間企業と連携

して電気自動車用充電設備の整備促進を図るなど、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを強化する必要があります。

議会改革については、知事等との県議会の情報の共有化や議会審議の充実などをはじめ、特に、県議会への県民参画の推進に向けて、県議会自らが、県民に歩み寄っていく取り組みを展開していくことが重要であります。

県議会においては、さらなる県勢発展と議会改革の前進に向けて、活発な議論がなされるよう、伊沢議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります。

県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第4回定例会の概要

令和3年第4回定例会は、11月24日から12月9日まで16日間の会期が開かれました。

議案は、議員などから、茨城県議会基本条例の一部を改正する条例、茨城県ケアラ・ヤングケアラを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例などが提出されました。

また、知事から、茨城県森林湖沼環境条例の一部を改正する条例などが提出され、同条例については、総務企画委員会、防災環境産業委員会および営業戦略農林水産委員会による連合審査会の審査を経て、賛成多数で可決されました。

一般質問は、ヤングケアラへの支援、離婚後の子育て、ひとり親世帯への支援、水素エネルギー拠点の地域間競争、小児がん患者・子育て世代のがん患者とその家族などへの支援、少子化対策などの項目について行われました。(2~3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、休日議会開催の成果と課題、アクアワールド茨城県大洗水族館の今後の展開、県立中央病院の魅力向上策、北関東3県の連携強化による観光振興、県による工業団地開発の基準の指標化などを議論しました。(4面)

変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会では、新時代の茨城づくりに向けた諸方策の在り方について調査報告(最終提言)を行いました。(8面)

決算特別委員会では、令和2年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定などについて審議が行われました。(8面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、決算、報告、意見書、請願などの32件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。

第4回定例会の 主な日程

令和3年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

11月24日(水)	本会	議
(開会、知事提出議案説明)		
11月28日(日)	本会	議
※休日議事(第7面)		
11月29日(月)	本会	議
11月30日(火)	(一般質問・質疑)	
12月2日(木)	常任委員会	
3日(金)	決算特別委員会	
12月6日(月)	議	
12月7日(火)	変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会	
12月9日(木)	本会	議
(委員長報告、採決、閉会)		

一般質問(要旨)

●質問者

11月28日(日)	鈴木 将 議員 いばらき自民党
高橋 勝則 議員 いばらき自民党	
田口 伸一 議員 いばらき自民党	
飯田 智男 議員 いばらき自民党	
高橋 直子 議員 いばらき自民党	
大和田 寛樹 議員 いばらき自民党	
11月30日(火)	金子 晃久 議員 いばらき自民党
遠藤 実 議員 いばらき自民党	
(県民フォーラム)	島田 幸三 議員 いばらき自民党

議会中継は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



高橋 勝則 議員
いばらき自民党
古河市選出

離婚後の子育て、ひとり親世帯への支援

議員 離婚後も子どもの利益を最優先に考慮し、養育費の確保や適切な面会交流がなされるよう、県としても制度の周知や相談体制の整備をすべきと考えるが、所見は。保健福祉部福祉担当部長 制度や行政の支援策などをリーフレットやセミナーで周知するほか、今年度から行政書士による専門相談を開始した。住民に身近な市町村職員に、相談スキル向上のための研修を行うなど、ひとり親世帯の相談支援の強化に努めていく。

県西地域の振興

議員 若者層の流出を防ぎ、定住に結びつけていけるよう、地域の魅力を高める地域振興に力をいれべきと考えるが、所見は。

知事 企業誘致に弾みをつけ、若者に魅力ある働く場を確保していく。また、観光など交流拡大を促進するほか、生活環境の向上による定住促進に向け、土地区画整理事業やコンパクトシティ化などの市町村のまちづくりを支援していく。

(ほかに、障がい者に配慮した投票環境、農福連携の推進なども質問)

ひとり親世帯への支援策などを周知するリーフレット



飯田 智男 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

圏央道沿線への産業用地の確保

議員 圏央道4車線化を控え、県南・県西の沿線地域に対する企業の立地需要は一層高まると考える。市町村とも連携して集中的に産業用地を確保していくことが重要と考えるが、どう取り組むのか。

石下紫峰高校等における外国人特例枠の拡大
議員 石下紫峰高校、結城第一高校における外国人特例枠の拡大について、どのような目的のもとに実施し、今後どのように外国人籍生徒への指導を行っていくのか。
教育長 外国人生徒が個々の能力を発揮できる教育体制を構築し、地域社会の担い手として活躍できるように育成する必要があると考える。2校をモデル校として、学習支援や学校生活の観点を支援を強化していく。
(ほかに、コロナを踏まえた予算編成方針、観光振興なども質問)



県が開発に着手した、つくばみらい市福岡地区の産業用地



鈴木 将 議員
いばらき自民党
つくば市選出

ヤングケアラー^{※1}への支援

議員 ヤングケアラーは、年齢や成長に見合わない責任を負うことや、教育や育ちに影響を及ぼすことや、誰にも相談できず孤立してしまうことが危惧される。支援が必要だが、県の対応の方向性は。知事 現状では、ヤングケアラーの人数など基本的な情報が不十分のため、まずは中学校と高校の生徒などを対象とした実態調査が必要と考える。また、ヤングケアラーに対する県民の認知度向上などを図るため、普及啓発を実施する。

農業水利施設の老朽化対策と防災・減災対策

議員 農業用河川工作物^{※2}やため池などの農業水利施設については、老朽化対策と防災・減災対策を加速化させる必要があるが、対応は。農林水産部長 施設の老朽化対策を計画的に進めるとともに、施設に起因する災害の未然防止を図る。また、農業用河川工作物の更新に当たっては、土地改良区や農業者、河川管理者と施設の統廃合も含めた整備の在り方を検討していく。(ほかに、子どもたちの学びの継続と保障、困難を抱える子どもたちの学びの支援なども質問)



子どもの笑顔と幸せあふれる社会へ(休日議会で披露された水戸二高の書道パフォーマンス)



田口 伸一 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出

水素エネルギー拠点の地域間競争

議員 川崎臨海部は鹿島臨海工業地帯の倍の出荷額があり、モデル事業が採択されるなど、既に産業競争力強化と脱炭素化実現に向けて動き出している。エネルギー拠点競争にどう勝ち抜いていくのか。政策企画部長 鹿島には設備の新しさや多様な産業集積、また、県内には多くの研究機関が立地する強みがある。港湾機能の高度化や次世代エネルギー需給の一体的創出など、企業が新たな取り組みを行いやすい環境整備に努めていく。

小中学校における教員の欠員の現状と対策

議員 教員の欠員の現状をどう認識し、今後、どのように人材確保と勤務環境の改善に取り組むのか。教育長 補充教員を適切に配置するため、各教育事務所の講師志願者情報を県全体で共有し、退職者をデータベース化して個別に働き掛ける。メディアの有効活用で志願者増に取り組み、働き方改革実践モデル校の成果を広め、教員が安心して働ける勤務環境をつくる。(ほかに、児童虐待への対応、性犯罪・性暴力根絶に向けた取り組みなども質問)



新たなエネルギーの拠点として飛躍が期待される鹿島臨海工業地帯



高橋 直子 議員
いばらき自民党
土浦市選出

小児がん患者・子育て世代の支援

議員 がん患者と家族などの相談に乗って生活計画を作成、進捗管理するサービスや、居住一体型病室の整備、経済的支援の充実が必要と考えるが、どう取り組むのか。保健福祉部長 いばらきみんなのがん相談室の設置、高額療養費借入金の利子補給などの患者支援を行っており、小児がん専門医療機関では宿泊施設も整備している。人材育成や患者サロン充実など、ICT活用も含めて相談体制を検討し、寄り添える支援に努める。

ジェンダー・ニュートラル^{※3}に向けた意識改革の推進

議員 個人や男女の違いを認めつつ、性別などにも繊細で敏感な感受性を身に付けるべき。男女が協力し合う社会の実現に向け、県民の意識改革に、どう取り組むのか。知事 男女共同参画の推進に加え、性別などに関わらず、一人一人が尊重され、能力を発揮できる社会の実現が必要。団体・企業によるダイバーシティ宣言やシンポジウムなど、ダイバーシティ推進センター^{※4}を拠点に意識改革に取り組む。(ほかに、少子化対策、霞ヶ浦環境科学センターなども質問)



小児がん患者と家族に寄り添うレモネードスタンド活動^{※5}

※1【ヤングケアラー】…一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている18歳未満の子どもを指す概念。
※2【農業用河川工作物】…河川区域内の土地に設置された農業用水利施設のこと。例えば、河川から農業用水を取り入れるための堰(せき)や樋門(ひもん)などが該当する。
※3【ジェンダー・ニュートラル】…社会的・文化的に形成された性別を意味する英語genderと、中立を意味するneutralを組み合わせた用語。性別にとらわれ過ぎず、性別に中立な姿勢・態度を目指す考え方で、〈男〉〈女〉の分け方のみに過度に限定する考え方への疑義をも含む。

※4【ダイバーシティ推進センター】…県女性プラザと県男女共同参画支援室の機能を統合し、令和2年11月に県三の丸庁舎にオープン。誰もが個性と能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる人材の育成を推進するための拠点施設。なお、ダイバーシティとは「多様性」の意味。
※5【レモネードスタンド活動】…レモネードを販売して集まったお金を、小児がん治療のために寄付する社会貢献活動。

一般質問(要旨)



議員 寛樹 大和田
いばらき自民党
石岡市選出

少子化対策

議員 少子化は、将来の働き手不足や内需の縮小など、社会に与える影響が極めて大きい。急速に進む少子化に、どう対応するのか。

知事 少子化の改善には、未婚化・晩婚化対策が重要なため、AIマッチングシステムを導入し、結婚支援を強化した。また、不妊治療の助成措置を拡充するなど、一層の経済的負担軽減を図っている。仕事と子育ての両立に向けては、民間企業などと連携して、引き続き働き方改革を推進していく。

小中学校の適正規模・適正配置等の推進

議員 児童生徒数の減少により学校の小規模化が進行し、教育環境の格差が懸念されている。学校の再編・統合が遅れている地域には、県が積極的に関与すべきと考えるが、今後どう取り組むのか。

教育長 教員の加配やスクールパスの経費などの助成、学校統合の事例紹介の充実に加え、今後は市町村に対して実態調査を行い、実情に応じた支援を検討していく。(ほかに、イノシシによる農作物被害防止対策、安全・安心な通学路の整備なども質問)



AIを活用した結婚支援

次世代自動車産業のクラスター化に向けた戦略的企業誘致

議員 社会の脱炭素化に貢献し、新産業の創出による経済成長を加速化するためには、次世代自動車関連企業の誘致が必要である。どのような戦略を持って取り組んでいくのか。

立地推進部長 企業の投資計画などを分析し、戦略的誘致を展開している。補助制度を弾力的に見直すなど支援策の充実に努め、本県の優遇制度などをPRし、生産・研究開発拠点の誘致に取り組む。(ほかに、県管理河川における脆弱箇所の把握と対策、大規模災害に対する警察の役割なども質問)



社会実装を目指すドローン(つくば市住宅街での配送試験)



議員 実 遠藤
県民フォーラム
那珂市選出

新型コロナウイルス感染症の第6波への備え

議員 コロナ第6波に備えるための地域性に応じた病院の役割分担も考えながら、いかに病床数を増やすのか。保健所のさらなる事務効率化に向けて、どう考えるのか。

知事 政府が求める水準以上の877病床を確保し、軽症患者が入所する宿泊療養施設を約2600室へ大幅に拡充して医療提供体制を強化した。また、感染拡大時に保健所が業務過多にならないよう、応援職員の拡充や研修の徹底など、バックアップ体制を整備していく。

再生可能エネルギーの推進

議員 カーボンニュートラル達成のため、再生可能エネルギーをどう推進し、太陽光発電施設をいかに適正に導入していくのか。

県民生活環境部長 本県の導入量は全国1位であり、ガイドラインや関係法令の規制により、地域と共生した適正導入を推進してきた。今後は、住民合意がある「促進区域」へ誘導できる国の新制度も活用するなど、引き続き、市町村と連携して適正導入を推進する。(ほかに、飲食店の支援と感染対策、若者の投票率向上なども質問)



県内の太陽光発電施設

児童生徒の自殺の未然防止に向けた取り組み

議員 全国的に増加傾向にある児童生徒の自殺について、未然防止に向けた取り組みを早急に行うべきと考えるが、どう取り組んでいくのか。

教育長 児童生徒の悩みの早期発見や相談体制の整備、心理的負担への対処方法に関する教育の強化に取り組んでいる。また、学校と保護者が情報共有できる関係づくりに努めるほか、県警などと事前協議し、対応方法を共有していく。(ほかに、自衛隊オスプレイの飛行訓練、農業を支える担い手の確保なども質問)



茨城空港のさらなる振興を

今定例会で可決された議案など

議員提出

◆条例の制定
○茨城県ケアラ・ヤングケアラを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例

◆条例の一部改正

○茨城県議会基本条例の一部を改正する条例

◆意見書

○私学助成の拡充強化等に関する意見書
○新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療提供体制と平時の医療提供体制の両立維持のための財源確保を求める意見書

知事提出

◆令和3年度補正予算関係

○一般会計補正予算
○流域下水道事業会計補正予算

◆条例の一部改正

○茨城県森林湖沼環境税条例の一部を改正する条例
○義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例

◆人事

○教育委員会委員の任命について
○監査委員の選任について

◆その他

○令和2年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について
○県有財産の売却処分について(茨城中央工業団地(笠間地区)事業用地)

○指定管理者の指定について(茨城県立カシマサッカースタジアム)

◆認定

○令和2年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆請願

○令和4年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

◆意見書

○令和4年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

◆その他

○令和4年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

◆お問い合わせ

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧いただけます。



常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

北関東3県の連携で観光振興を図るべき 3県の周遊による誘客を促進していく

問 北関東3県の連携を強化し、観光振興を図るべきと考える。また、鉄道、高速道路、空港、港湾をもっと活用した誘客をすべきではないか。
答 令和5年秋に開催のデスクティネーションキャンペーン※2を契機に連携を図るなど、北関東3県の周遊による誘客を促進していく。本県には陸海空のインフラがそろっており、有効活用していきたい。



北関東3県連携による観光PR

問 農業水利施設の維持管理などのため、農家が支払う賦課金が増額された土地改良区がある。米価が下落し、苦しい状況にある中、農家に寄り添い、どう対応するのか。
答 施設の長寿命化対策や補修経費の一部補助など、土地改良区の運営を支援するとともに、より良い方策を関係機関などと検討していきたい。(ほかに、いばら旅あんしん割、霞ヶ浦における漁業就業希望者への支援なども質問)

総務企画委員会

休日議会開催の成果と課題、今後の開催は課題を議会に示し、次回開催の可否を判断いただく

問 11月28日(日)に初開催した休日議会の成果と課題は。開催内容などもしつかり考え継続してほしいが、所見は。
答 初めて議会の傍聴に来た方も多く、議場での熱心な議論をじかに感じ、県政や議会に興味関心を持っていただけた。一方、職員の休日出勤に伴う諸経費などが課題であり、これらを整理して議会に示し、次回開催に向けた可否について判断していただきたい。



さらなる整備と利用促進が期待される県北ロングトレイル

問 県北ロングトレイル※1の利用状況と課題、今後の整備計画、全線開通の時期は。
答 直近で月1200名程度が利用しているが、道が滑りやすいという意見があるので、注意喚起していく。大子町から南へ順次整備を進めており、全線開通は令和7年度を予定。(ほかに、ひたちなか海浜鉄道延伸計画の課題と対応、砂沼サンビーチ跡地利用と県による支援なども質問)

土木企業立地推進委員会

県が工業団地を開発する上での審査基準を指標化すべき 現在設けている審査基準をさらに細かく精査していく

問 工業団地開発は、整備済みの保有土地の売却もあり、新たに進めるか否かの見極めが難しい。事業採算性、土地の災害リスク、企業からの引き合い状況などの審査基準を指標化すべきだが、所見は。
答 20年ぶりの県施行となるつくばみらい市福岡地区の開発では、企業の立地ニーズ調査を行った。インフラ状況など、現在設けている審査基準をさらに細かく精査していく。



企業立地が決定した工業団地(茨城空港テクノパーク)

問 近年、大型車の増加などで、道路舗装の劣化が著しい。対策が必要だが、所見は。
答 今年度から、那珂市内の国道349号で、新しい舗装材料の検証を進めている。今後、追跡調査を実施し、新材料の有効性を確認していく。(ほかに、熱海市伊豆山地区土砂災害を受けた本県の対策、茨城空港テクノパークへの企業立地の決り手なども質問)

防災環境産業委員会

アクアワールド茨城県大洗水族館の今後の展開はさまざまな分野との連携など新たな挑戦を行っていく

問 20周年記念として、いろいろな取り組みを行っているが、多様な層にアピールできる魅力ある水族館を目指していただきたい。今後の展開は。
答 新たなファンの獲得に向け、人気アニメなどの共同イベントに取り組んでいるところ。今後もアニメ以外の分野との連携など、新しいことに挑戦していきたい。



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション
20周年記念事業第5弾として3月末まで開催

問 原子力広報紙において、東海第二発電所の安全対策などを知らせてもらうことは大事であるが、放射線の正しい知識が得られる広報も必要だと考える。取り組み状況は。
答 一般県民向けのハンドブックや児童生徒を対象にした教材での普及啓発に加え、講演会への専門家の派遣、ラジオ広報やその内容のネット配信などに取り組んでいる。(ほかに、茨城県水道ビジョン、中小企業への専門人材の派遣支援なども質問)

文教警察委員会

信号機の無い横断歩道での車の停車率向上に向けた対策は 歩行者優先と正しい横断の徹底について情報発信していく

問 信号機の無い横断歩道に歩行者がいる場合の自動車の停車率が全国平均より低いのが、向上に向けた対策は。
答 横断歩道の塗り直しや横断歩道の車道方向をハンパ※4構造にし、自動車の走行速度の低減を図っている。また、横断歩道における歩行者優先や正しい横断の徹底について、情報発信を行っている。



信号機の無い横断歩道における横断の様子

問 定められた教員数が未配置の場合や、年度途中で育児休業などになった時の対応は。
答 配置される教員数には余裕があるため、学級担任以外の教員などが指導しており、子どもの学習に影響はない。

保健福祉医療委員会

県立中央病院の魅力向上策は 地域の医療機関との連携や教育機能の強化に取り組む

問 患者や医療スタッフから選ばれるため、県立中央病院の魅力を一層高めるための努力が必要だが、取り組みは。
答 紹介患者を増やすため、近隣の医療機関との連携強化に継続して取り組んでいる。また、県内に定着する医師を輩出できるよう、筑波大学とも連携しながら、より充実した教育ができる施設を目指す。



県立中央病院の教育機能のさらなる強化

問 県立医療大学における今回の採点ミスは、問題の順番を入れ替えた後の確認が不十分であったことが原因とのことだが、再発防止策は。
答 問題などの修正の際に確認漏れが生じないように、確認者や手順などのルール化やチェックリストの見直しを行う。さらに、それらを文書化するなど、再発防止に万全を期す。(ほかに、コロナワクチンの3回目接種、HPVワクチン※3の積極的勧奨再開の国の方針を受けた対応なども質問)

「茨城県森林湖沼環境税条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決

第4回定例会において、知事から、森林湖沼環境税(令和3年度末で課税期間満了)の課税期間延長を求める「茨城県森林湖沼環境税条例の一部を改正する条例」が提出され、総務企画委員会は、本議案審議のため、関連する防災環境産業委員会、営業戦略農林水産委員会と連合審査会※1を開催しました。

審議の過程では、税額の検討経過、霞ヶ浦湖上体験スクールや木育※2などの環境教育等を通じた環境保全に対する県民意識の醸成、浄化槽の法定検査未受検者に対する指導の徹底などについて、活発な議論が交わされました。

連合審査会における審議を踏まえ、条例の一部改正は、特例期間の延長を求めているものであり、森林湖沼環境税を財源とする予算措置と、その配分を認めるものではないことを確認の上、総務企画委員会は、原案のとおり可決すべきものと決し、閉会日の本会議において賛成多数で可決しました。

項目	概要
改正理由など	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に導入した森林湖沼環境税は、今年度末で課税期間が満了 引き続き、森林や湖沼・河川の環境保全に資する施策を推進するため、課税期間延長を提案
背景・必要性	<ul style="list-style-type: none"> これまで森林や湖沼・河川の環境保全に資する事業を実施した結果、一定の効果が上がっている。 一方、適切な森林整備と森林資源の循環利用を進めるため集約化を加速することや、霞ヶ浦の水質を悪化させないように水質浄化効果が高い事業に重点化し、引き続き施策の推進が必要
内容	<ul style="list-style-type: none"> 税率の特例期間を令和8年度まで5年間延長
効果・影響	<ul style="list-style-type: none"> 税の活用により、森林や湖沼・河川の環境保全に資する事業を引き続き推進することで、これらの自然環境の公益的機能をより発揮できる状態としていくことが期待できる。

閉会中の委員会活動 (県内現地調査と主な視察先)

営業戦略農林水産委員会 (鈴木将委員長)

【重点審査テーマ】アフターコロナを見据えた本県の観光振興

牛久シャトー (牛久市)
牛久シャトーは、1903年に日本初の本格的ワイン醸造場として開設され、令和2年に日本遺産に認定されました。その歴史や、ビール醸造など新たな取り組みについて伺いました。



筑波山縁むすび (つくば市)
常陸小田米を使用したおにぎり、米を使ったスイーツや焼酎の販売など、「筑波山縁むすび」による6次産業化の取り組みなどを視察しました。



総務企画委員会 (戸井田和之委員長)

【重点審査テーマ】デジタルトランスフォーメーション(DX)※3の推進に向けた取り組み

東海村役場 (東海村)
東海村は、(株)日立システムズとDXを共同で推進する連携協定を締結し、業務量削減に貢献するDX関連の共同開発を行っており、その取り組みなどについて意見交換を行いました。




いはらきフラワーパーク、花やさと山(石岡市)
(一財)石岡市産業文化事業団と(株)パーク・コーポレーションの共同事業体を指定管理者としてリニューアルオープンしたフラワーパーク、隣接する花やさと山を視察しました。




土木企業立地推進委員会 (加藤明良委員長)

【重点審査テーマ】災害から住民生活を守るインフラのあり方

那珂川緊急治水対策プロジェクト/一級河川藤井川 危機管理型ハード対策(水戸市)
令和元年東日本台風の被害を受けて取りまとめた「那珂川緊急治水対策プロジェクト」のうち、藤井川における堤防機能の強化工事を視察しました。




笠間市「道の駅」整備事業(笠間市)
昨年9月に笠間市内の国道355号沿線に整備され、鉄道などと連携した交通結節点や防災拠点などとして期待される「道の駅かさま」を視察しました。




防災環境産業委員会 (星田弘司委員長)

【重点審査テーマ】コロナ禍における中小企業への支援とポストコロナを見据えた取り組み

株式会社ワープスペース、つくば市スタートアップ推進室(つくば市)
筑波大学発で、人工衛星向け通信サービスなどを行い、新たなビジネスモデルで急成長を目指す株式会社ワープスペースなどの取り組みを視察しました。



不適正残土対策等について(阿見町)
県および市町村の条例で規制されている土砂などが無許可埋め立てされた現場を視察し、今後の対応などについて、質疑・意見交換を行いました。



文教警察委員会 (田口伸一委員長)

【重点審査テーマ】学びの変革

茨城県立図書館(水戸市)
昨年7月、1階にカフェを設置して、「静かで本を借りるための場所」というイメージを一新し、学びや交流など多様な活動拠点として魅力向上に取り組む県立図書館を視察しました。




県立太田第一高等学校(常陸太田市)、県立水戸第三高等学校(水戸市)
県立高校入学者選抜学力検査等の採点誤りが多数発生したことを受けて、高校の先生方の声を聞き、採点業務の課題などについて意見交換を行いました。




保健福祉医療委員会 (岡田拓也委員長)

【重点審査テーマ】非常事態を想定した保健・医療・福祉の支援体制について

筑波メディカルセンター病院(つくば市)
地域の中核病院として新型コロナウイルス感染症に対応中であり、東日本大震災などでも、非常事態における医療提供活動の拠点となった筑波メディカルセンター病院を視察しました。



社会福祉法人茨城補成会(茨城町)
児童養護施設や福祉型障害児入所施設、障害者支援施設の運営、就労移行支援事業などを展開し、児童や障害者などの支援に取り組む社会福祉法人茨城補成会の各施設を視察しました。



令和4年

各会派基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党 議員会長

白田 信夫

緊張感もって 安心安全取り戻す

新型コロナウイルスの新たな変異株が世界で急拡大する中、新しい年が明けました。

ここに改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、昼夜を問わず治療にあたっておられる医療従事者や、感染防止にご尽力いただいている皆様にご感謝の意を表する次第です。

わが党は昨年、9月の知事選と10月の衆院総選挙に勝利を取ることができました。県民の皆様のご支援に感謝申し上げます。

国政では単独で絶対安定多数を維持し、第2次岸田(文雄)内閣は昨年11月、コロナへの対応と経済活動の両立に向け、過去最大規模の経済対策を打ち出しま

した。県政では、「挑戦」など3つを基本姿勢とする大井川和彦知事の2期目が始動しました。が、国政も、県政も緊張感のない政治に前進はない、と言われます。

いばらき自民党は二元代表制の下、政務調査会が政策立案機能の充実に努めています。先の第4回定例会で可決・成立した議員提出議案「ケアラ・ヤングケアラ支援条例」は、政策条例として20本目、全国トップレベルです。

また、昨年暮れには、第6波への備えと経済・産業の早期回復を中心に、新規62件、一部修正155件を含む総項目数2642件に上る令和4年度重要政策大綱を知事に提出しました。各種団体からの要望聴取や議会での議論を通じて明らかになった課題などを政務調査会、議員会で吟味しながら盛り込んだものです。

所属議員45名は、県民の安心安全な暮らしを一日も早く取り戻すため、議会活動に邁進していく決意を新たにいたしました。県民各位のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

県民フォーラム



県民フォーラム 代表

齋藤 英彰

生活者と働く者の立場から、共生社会の実現を

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様にご心からお見舞いを申し上げます。また、感染症と日々闘っていらっしゃる医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様へ、心からの感謝を申し上げます。

本県においてコロナ禍が始まってから、約2年が経とうとしておりますが、新たなオミクロン株の出現と感染の再拡大が懸念されるなど、まだまだ予断を許さない状況です。

長引くコロナ禍により、社会全般に大きな影響が出ており、「ウィズコロナ社会」における新しい生活様式や各種施策が求められています。

県民フォーラムとしても、こうした諸課題を生活者とともに受け止め、大井川知事に対し、感染拡大の防止や生活者・事業者への支援等に適切に取り組むよう要請を行ってまいりました。

今後も、時代とともに変化する県民の皆様への生活に寄り添いながら、医療体制のさらなる強化と、コロナ禍で疲弊した地域経済の早期回復を目指すとともに、生活者や働く者の立場にたつ共生社会の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。本年もご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公明党



公明党 茨城県議会議員 代表

高崎 進

命を守り、希望が持てる 安心な暮らしを

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

公明党は昨年末、新型コロナウイルスの第6波に備えた医療提供体制の整備に関する緊急要望を大井川知事に提出しました。要望では、病床の確保、コロナ感染症医療連携システムを活用

した迅速で的確な医療提供体制の構築3回目のワクチン接種の大規模接種会場の設置、新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ方々への相談窓口や専門外来医療機関の整備などです。また、コロナ禍で影響を受けた産業と雇用を守る支援策や消費の回復を後押しする対策に取り組んでまいります。

大規模な自然災害への対策も急務です。県民の命と財産を守るため、切れない防災・減災の施策を積極的に推進する必要があります。引き続き、地域づくりに取り組んでまいります。

私も公明党は、県民の小さな声も政治に反映するため、令和4年度茨城県予算編成に向け、332項目の政策要望を取りまとめ、昨年末に大井川知事へ提出しました。今後も、県民の命を守り、希望が持てる安心な暮らしの実現のため、全力で働いてまいります。

日本共産党



日本共産党 日茨議員団長

山中 たい子

くらし・福祉支え、憲法9条を守る共同広げます

新型コロナウイルス感染症の新たな拡大が懸念されるなか、新年を迎えました。

昨年の衆院選挙・知事選挙では、命とくらしを大切に政治のあり方が問われました。

県民のみなさんの願いは、医療や福祉の充実、子育て支援です。全国8位の財政力はそのために生かすべきです。ケア労働の担い手、看護師や介護士、

保育士などの賃金の抜本引き上げが必要で。コロナ禍で失業や収入減、倒産・廃業などが深刻です。くらしと営業を守る最大の決め手、消費税5%への減税を求めます。

本県農業を支える小規模家族農業や新規就農者へのさらなる支援が求められます。米価下落の緊急対策として、政府による米の買い上げを実施させましょう。

くらしと家計を応援することが、コロナ危機で疲弊した地域経済を立て直す確かな道です。

古く危険な東海第二原発の再稼働ストップへ、力を合わせましょう。福島第一原発汚染処理水の海洋放出に反対します。気候危機の打開へ、共同を広げましょう。

陸上自衛隊百里基地における自衛隊オスプレイ訓練や日米共同訓練の中止を強く求めます。憲法9条を守り生かす共同を広げます。

立憲いばらき



立憲いばらき 代表

設楽 詠美子

ひとり一人の命と暮らしに寄り添う

新型コロナウイルス感染症の流行から2回目の新年を迎えることになりました。

お亡くなりになった皆様のご冥福と罹患された方、治療中の方々へのお見舞いを申し上げます。

医師不足の茨城県で、医療現場の声をともに保健所機能の強化や検査体制の充実が重要です。命を守るために、医療従事者と行政がスムーズに連携し

コロナ対策を実施することを提案しております。

コロナ禍により、女性の脆弱性も明確になりました。女性の自殺・貧困(生理的貧困)等の課題が明らかです。非正規雇用の多くの女性たちは職を失い、特にシングルマザーの女性たちのダメージは大きく子育て等、日々の生活に苦しさを感じています。女性の自立にむけた教育と支援、そして親の所得に関わらず、子どもたちが夢を実現できるように給付型奨学金等を提案しております。

厳しい時だからこそ、私たちは力を合わせてのりこえることが大切です。茨城家族として愛を胸に、温かい茨城県を育みたいと思います。

立憲いばらきは、ジェンダーバランスの均衡した、生まれたばかりの二人会派です。ひとり一人に寄り添う温かい政治を担ってまいります。ご指導よろしくお願いたします。

休日議会を開催しました

11月28日(日)、「休日議会」を開催しました。県民の皆様は、議会活動を身近なものとして感じていただき、その理解と参画を促進することが開催趣旨であり、「県民参画」を趣旨とするものとしては、都道府県議会として初の取り組みでもあります。

本会議の開催に先立ち、県議会議員と高校生によるヤングケアラーに関する意見交換会を開催したほか、本県の未来を担う高校生たちの主権者意識の向上などにもつながるよう、県政一般に関する質問(一般質問)の傍聴をしていただきました。傍聴席300席は、議事堂での一般質問開始時には、若い世代を含めた県民の方々に概ね満席(傍聴に伴うコロナ対策も実施)となりました。

また、開催に当たりましては、水戸二高書道部の協力を得て書道パフォーマンスを披露いただくとともに、議事堂1階では、同高書道部と美術部による作品の展示も行いました。

今後の開催については、休日開催に伴う職員負担なども含め、さまざまな課題と効果を検証してまいります。



高校生との意見交換会の様子



高校生による書道パフォーマンス



傍聴席からの本会議の様子

議員提案により「茨城県ケアラー・ヤングケアラーを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例」が制定されました

第4回定例会で、議員提案により「茨城県ケアラー・ヤングケアラーを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例」が制定されました。令和3年12月14日から施行されています。

この条例では、全てのケアラーが自分らしい人生を歩んでいけるよう、ケア^{※2}に伴う負担を軽減し、ヤングケアラーの教育の機会の確保を図るなど、ケアラーを社会全体で支え、県民誰もが生きやすい社会の実現を目指しています。

具体的には、「支援の必要性の把握」や「支援策の推進」、「ケアラーに対する社会的な理解の促進」などに関し、県が、市町村の主体的な取り組みを積極的に支援するとともに、連携および協力を図り、必要な施策を講ずることとしています。

本県の議員提案政策条例は、この条例で20件目です。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組みでまいります。

※これら2つの条例全文はホームページでご覧になれます。



ケアラー条例はこちら



議会基本条例はこちら



条例の提案説明を行う鈴木将議員

議員提案により「茨城県議会基本条例の一部を改正する条例」が制定されました

第4回定例会で、議員提案により「茨城県議会基本条例の一部を改正する条例」が制定されました。令和3年12月14日から施行されています。県議会では、平成24年の制定から8年が経過する茨城県議会基本条例の見直しを行うこととして、昨年3月に設置された議会改革推進会議において議論を進めてきました。

具体的な改正内容としては、「県議会災害対策会議の位置付けなど、災害発生時における議会の対応」や、「県民参画による開かれた議会の推進」、「執行機関との緊密な連携と情報共有を通じた議会の監視機能強化」、「ICT技術を活用した効率的な議会運営」の4項目に関して新たに規定の整備を行うものであります。いずれも、社会情勢が大きく変化する中、より一層、県議会が県民の皆様への負託に応えていく上で必要な改正となっておりま。

今後とも県議会では、不断の改革により、県民の皆様は身近で開かれた議会を目指してまいります。



条例の提案説明を行う小川一成議員

「茨城県議会と常磐大学および常磐短期大学の相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施しました

「茨城県議会と常磐大学および常磐短期大学の相互連携・協力に関する包括協定」の締結を記念し、県議会および同大学で講演会を開催しました。11月18日、常井洋治議長が、「県政をリードする茨城県議会」と題し、常磐大学で講演を行いました。

講演においては、県議会に対する理解を深めるとともに、地域課題への関心や地域への愛着を深めることを目的とし、学生に対して、全国トップクラスの制定本数を誇る「議員提案による政策条例」の立案・制定など、県議会の取り組みを説明しました。

また、11月29日には、「SDGs^{※3}誕生の舞台裏」と題し、富田敬子常磐大学・常磐短期大学長が、県議会で講演を行いました。

富田学長からは、国連職員時代に携わったSDGsの策定過程やエピソードなどを交えて講演いただき、県議会議員と県執行部職員などが聴講しました。

今後も、大学が持つ知見を議会の政策立案に生かすとともに、本県の将来を担う人材の育成を図るなどの取り組みを進めてまいります。



県議会議事堂で講演する富田敬子常磐大学・常磐短期大学長



常磐大学で講演する常井洋治議長

「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」を開催しました

新時代の茨城づくりに向けた諸方策の在り方について調査報告(最終提言)を行いました

本委員会(森田悦男委員長)は、令和3年3月の設置以降、9回にわたり「県総合計画策定に当たってのメルクマール(指標)」とするとともに、「変革の時代をリードする強い財政基盤と行政運営を構築」するための諸方策の在り方について、調査検討を行ってまいりました。

最終提言では、県執行部に対し「新たな県総合計画策定における基本的な考え方」として、人口減少への戦略的対応、変革の波への挑戦、女性活躍・人権を尊重し多様性を認め合う社会の実現、持続可能な開発目標(SDGs)に向けた取り組みの4項目を提言しました。

併せて、「重点的に取り組むべき事項」として、財政基盤と行政組織の強化、産業の振興・創出、安心安全快適な生活環境づくり、人材(財)育成、新しい夢・希望への挑戦、幸福度指標の設定、人口の展望、未来の交通ネットワークの整備などに関し、93項目にわたる提言を行いました。

今後は、令和4年第1回定例会までに、新たな県総合計画における本委員会からの提言への対応状況を確認し、本委員会の調査結果報告書を取りまとめまいります。



調査報告(最終提言)を行う森田悦男委員長

「茨城県議会改革推進会議」を開催しました

11月26日に、第6回茨城県議会改革推進会議(小川一成座長)が開催されました。前回の会議後に実施された茨城県議会基本条例改正案に係るパブリックコメントの結果報告およびその対応案について協議が行われ、頂いたご意見に対する県議会の考え方が了承されました。

その後、茨城県議会基本条例改正案を盛り込んだ第二次答申案が全会一致で決定され、同日、小川座長から常井議長へ答申書が提出されました。

今回の会議で当推進会議に諮問された案件は全て議了となり、閉会に当たって小川座長より「会議での議論を通じ、コロナ禍において県議会の権能を最大限発揮するべく、自らが変革していくことが県民の負託に込める最良の道であるとの認識を改めて深めた」との挨拶が述べられました。

茨城県議会で、今後も県民目線に立った議会改革を絶えず進め、地方自治における二元代表制の一翼としてその責務を果たしてまいります。



会議後、常井洋治議長(左から7人目)へ第二次答申書を手渡す小川一成座長(右から6人目)

「茨城県議会基本条例改正案に関する意見募集結果」はこちらをご覧ください



決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(村上典男委員長)は、令和3年第2回定例会で設置され、「令和2年度茨城県公営企業会計決算の認定」などについて、計6回の委員会を開催し、部局ごとの部門別審査および全部局を対象とした総括質疑を行いました。

審査の結果、予算の執行および決算は、その内容を適切なものと認め、原案のとおり認定および可決すべきものと決定しました。

令和4年第1回定例会の会期日程

1月18日(火)以降、県議会ホームページで公表予定です。

議会人事(新議員)

12月12日の茨城県議会議員補欠選挙において、鈴木義浩議員(潮来市・行方市選挙区)が当選され、同14日付けで防災環境産業委員会の委員に選任されました。

「県議会PRRコーナー」をリニューアルしました

11月24日、議会改革推進会議第一次答申への対応として、県議会の情報発信能力強化を目的に「県議会PRRコーナー(議事堂1階に設置)」のリニューアルを行いました。

リニューアルに当たっては、パネルや映像を用いて、視覚的にわかりやすい展示となるよう創意工夫を凝らし、県議会の役割や仕組みはもとより、県議会142年の歴史を垣間見ることができる展示物を、年代別に分かりやすく入れ替えました。



リニューアル式典の様子。中央に常井議長。議長から右に、議会改革推進会議の小川座長、館座長代理、公明党の高崎代表、立憲いばらきの設楽代表。議長から左に、いばらき自民党白田議員会長、石井副議長、県民フォーラムの齋藤代表、日本共産党の山中議員団長

委員会などの新人事

予算特別委員会
予算特別委員会の委員長に、石井邦一議員が就任されました。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

委員長	西野 一
副委員長	加藤 明良
委員	白田 信夫
飯塚 秋男	川津 隆
戸井田 和之	田口 伸一
水柿 一俊	二川 英俊
高崎 進	

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

委員長	鈴木 将
副委員長	金子 晃久
委員	加藤 明良
高橋 勝則	山野井 浩
高橋 直子	村本 修司
高安 博明	江尻 加那

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

白井 平八郎	村上 典男
--------	-------

永年在職議員表彰

11月24日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

30年在職	葉梨 衛議員
25年在職	西條 昌良議員
10年在職	飯塚 秋男議員
	川口 政弥議員
	齋藤 英彰議員
	島田 幸三議員
	加藤 明良議員
	下路 健次郎議員
	鈴木 将議員
	星田 弘司議員
	設楽 詠美子議員